

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【文蔵小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p><学習上の課題> 算数「数と計算」において、正答率が6割程度の問題があった。</p> <p><指導上の課題> 児童が反復・習熟に取り組む時間が十分ではなかった。</p>	<p>⇒</p> <p>プリントやドリル・パーカー等を使い、基本的な計算等の反復や習熟に取り組む。【週1回の実施】 特に課題がみられた、小数や分数の計算やわり算の筆算、四則混合計算においては、スクールダッシュボードの授業アンケートから児童の理解度を的確に把握した上で、低学年から系統性をもたせた指導を実施していく。【毎時間設定】</p>
思考・判断・表現	<p><学習上の課題> 算数の「思考・判断・表現」に関わる領域では、他の領域に比べ、無回答率が高い。</p> <p><指導上の課題> 立式や説明に困難を感じている児童がいる。</p>	<p>⇒</p> <p>自力解決につながるような工夫や手立てを立てた授業づくりを実践し、自分の考えをもつことができる児童の育成を目指す。【R6年度さいたま市学習状況調査「これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が90%以上】</p>

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		<p>①結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	<p>国語において、文の中における主語と述語との関係をつめる問題に課題がみられた。形式的に助詞から主語がどれにあたるか考えられている一方、長い文章の最初に表記されている単語を主語として選択していることから、文章の内容やつながりを考えて主語を選ぶことができていないことが、解答類型から分かる。正確な内容把握のためには、主語と述語の関係を押さえることは欠かせないので、丁寧な指導を継続する。</p>	
思考・判断・表現	<p>国語において、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題に課題がみられた。解答類型を見ると、取材メモから言葉や文を取り上げて書くことはできるが、考えたことについて触れられていない解答が多かった。国語に限らず、事実や結果と意見や考えを区別して書けるように、授業の振り返り等で工夫していきたい。</p>	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	<p>プリントやドリル・パーカー等を使い、週1回基本的な計算等の反復や習熟に取り組むことができた。しかし、スクールダッシュボードの授業アンケートについては、入力できている学年に差があった。今後、学校課題研修の中でも取り上げ、学校全体で共有し取り組んでいく。</p>	変更なし
思考・判断・表現	B	<p>『学びの指標』の設問「自分一人で、考える時間がある。」においては肯定的回答が多く、児童に自分の考えをもたせる授業づくりができていることがわかった。それに比べ、「試したり繰り返したりして、答えを考えている。」の項目はポイントが低くなっていた。</p>	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)